

名張市における地域運営組織と コミュニティ・スクールの連携について



名張市教育委員会事務局教育総務室
参事 福島 良和



名張市地域環境部地域経営室
室長 中木屋 恵理子

福祉の理想郷・教育の先進都市をめざす 名張市

面積 129.77km²
海拔 225.93m

名張市の人口（R3.6.1現在）
男 37,289人
女 39,863人
計 77,152人
(うち外国人住民 1,061人)
世帯数 34,666世帯

高齢化率（R3.5.1現在）
名張市 33.2%
全国 29.1%



名張市のあゆみ

近畿・中部両圏の接点

万葉の時代から東西往来の要所、宿場町として栄える

→ 江戸期から続く中心市街地の周辺に農村地帯が広がる

昭和29年 市制施行 約3万人

昭和34年 伊勢湾台風襲来

昭和38年 **大規模住宅団地の造成**

(関西圏のベッドタウン)



初代桔梗が丘駅



名張市立病院

昭和56年 人口増加率日本一

中央地区土地区画整理事業開始

平成 9年 市立病院開院

平成12年 人口8万5千人台

平成14年 市長就任 (亀井利克)

財政非常事態宣言

平成15年 合併賛否市民投票 否決

ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例



15の
地域づくり組織
(=地域運営組織)



15の地域づくり組織

「住民が自ら考え、自ら行う」住民主体のまちづくり活動を支援し、段階を踏みながら住民自治の確立に向け取り組んできました。



1. 交付金化 地域づくり組織の活動を支援

- 2003年3月に「名張市ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例」を制定
- 使途自由で補助率や事業の限定がない交付金

2. 組織の見直し 地域づくり組織条例制定

- 昭和30年代からの「区長制度」を廃止し、区・自治会である「基礎的コミュニティ」と、それを包含する小学校区を単位とする「地域づくり組織」に整理

3. 地域ビジョン策定

地域が目指す将来像

- 15地域が個性ある将来のまちづくりのための基本方針、将来像、それに基づく実施計画を策定

4. 市民センター化

公民館から市民センターへ

- 地域に指定管理委託している公民館を市民センター化。地域活動・生涯学習・地域福祉の拠点に。

地域づくり組織

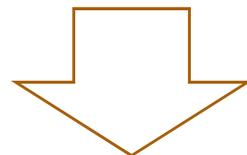
次のステップへ

少子高齢化、担い手不足
組織の固定化

- 目的別団体や企業との連携、地域間の相互連携
- イベント・活動・事業の棚卸し
- 若者やコミュニティ・スクールを核とした担い手育成

名張市総合計画 新・理想郷プラン

豊かな自然と文化に包まれて誰もが元気で幸せに暮らせるまち 名張



第二次名張市子ども教育ビジョン

計画の期間	2016(平成28)年度～2025(令和7)年度
前期計画	2016(平成28)年度～2020(令和2)年度
後期計画	2021(令和 3)年度～2025(令和7)年度

夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」

【後期計画】重点取組

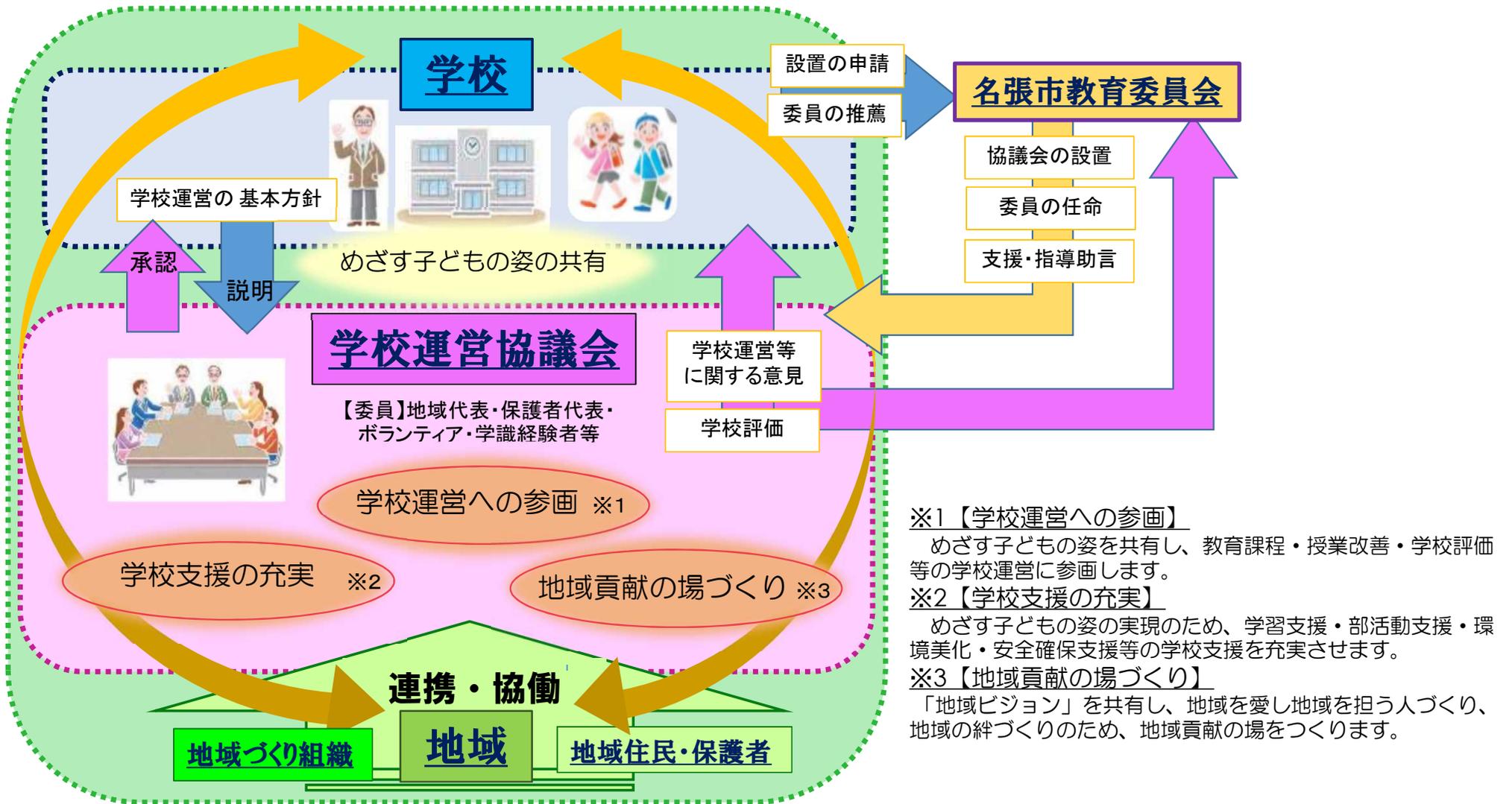
1. **小中一貫教育の推進**

2. **名張版コミュニティ・スクールの推進・充実**

3. 教育センター機能の充実

4. 生涯学習センター機能の構築

がっちり組もう育ちのスクラム「名張版コミュニティ・スクールの推進・充実」



がっちり組もう育ちのスクラム「名張版コミュニティ・スクールの推進・充実」

名張版コミュニティ・スクールの 三つの柱

学校運営への参画

めざす子どもの姿を共有し、教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画します。



学校運営の基本方針の承認



めざす子どもの姿を熟議



CS委員による授業参観



小中一貫国際交流イベントへ参画

学校支援の充実

めざす子どもの姿の実現のため、学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援を充実させます。



「縄ない」ゲストティーチャー



家庭科実習授業支援



水泳授業見守り支援



掃除の仕方支援



学校の環境整備(草刈)

地域貢献の場づくり

「地域ビジョン」を共有し、地域を愛し地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、地域貢献の場をつくります。



つつじっ子会議
(地域づくりについて考える)



地域行事へ中学生が出店

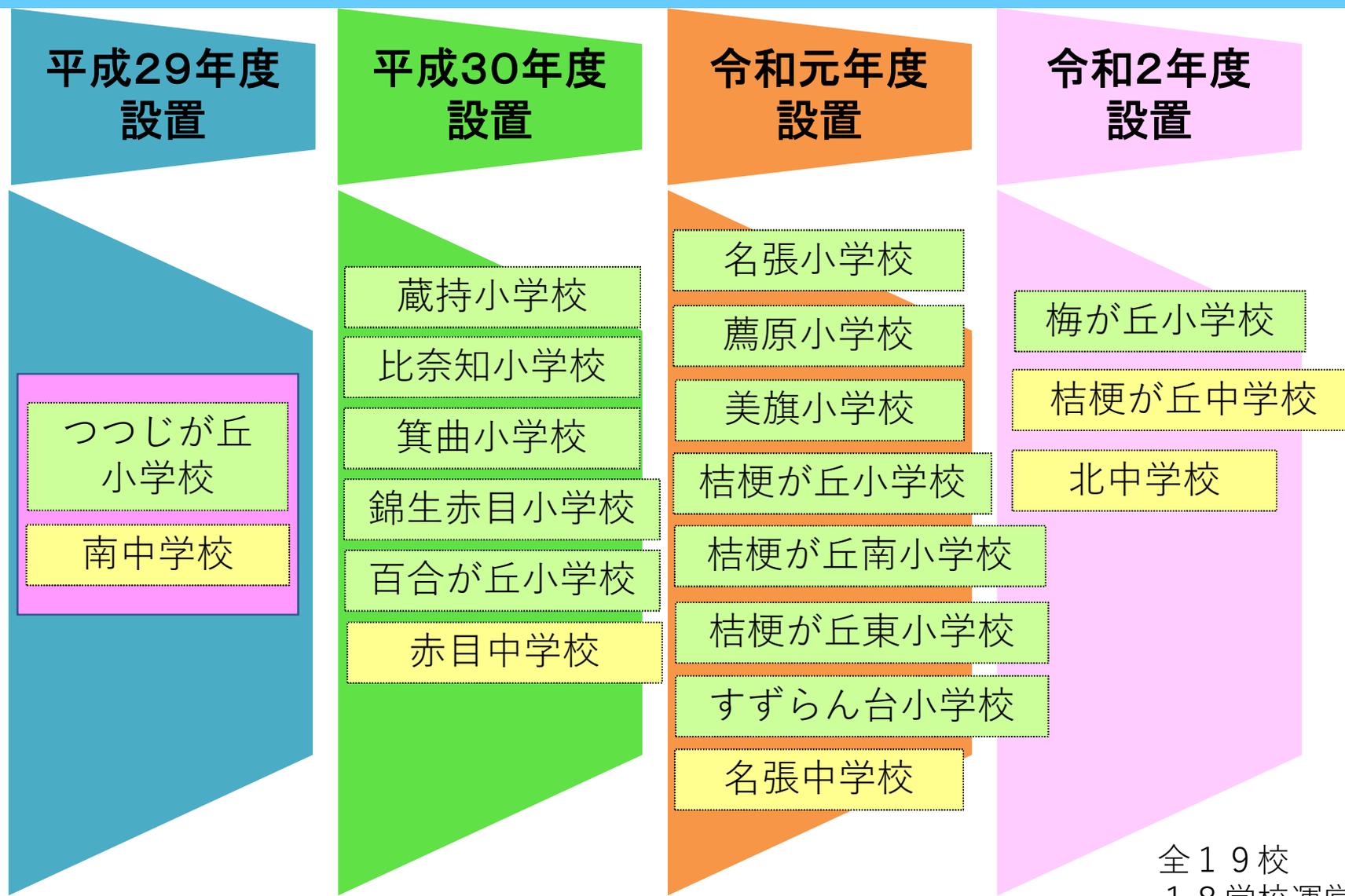


地域の方と一緒に地域清掃



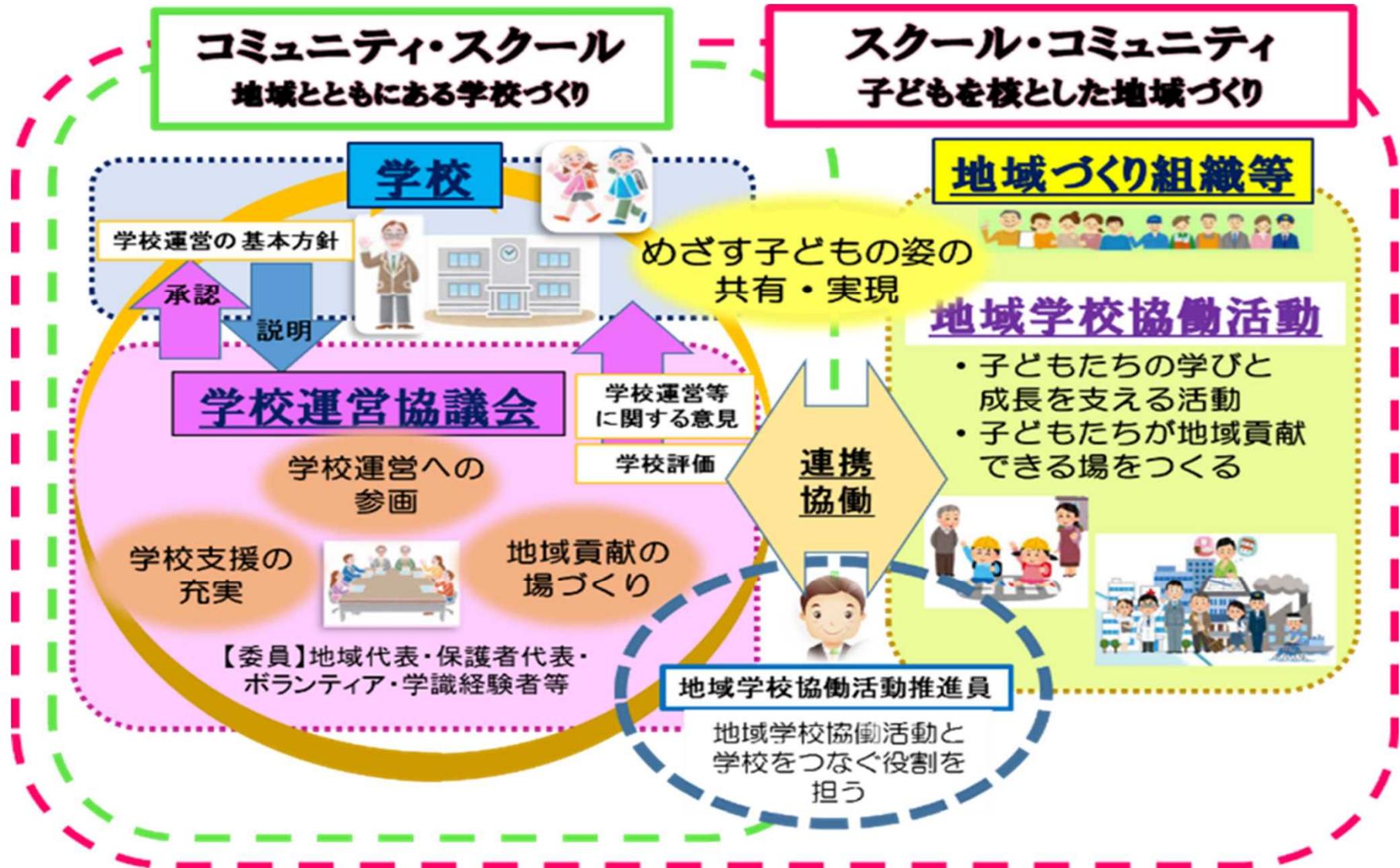
防災訓練へ小中学生が参画

がっちり組もう育ちのスクラム「名張版コミュニティ・スクールの推進・充実」



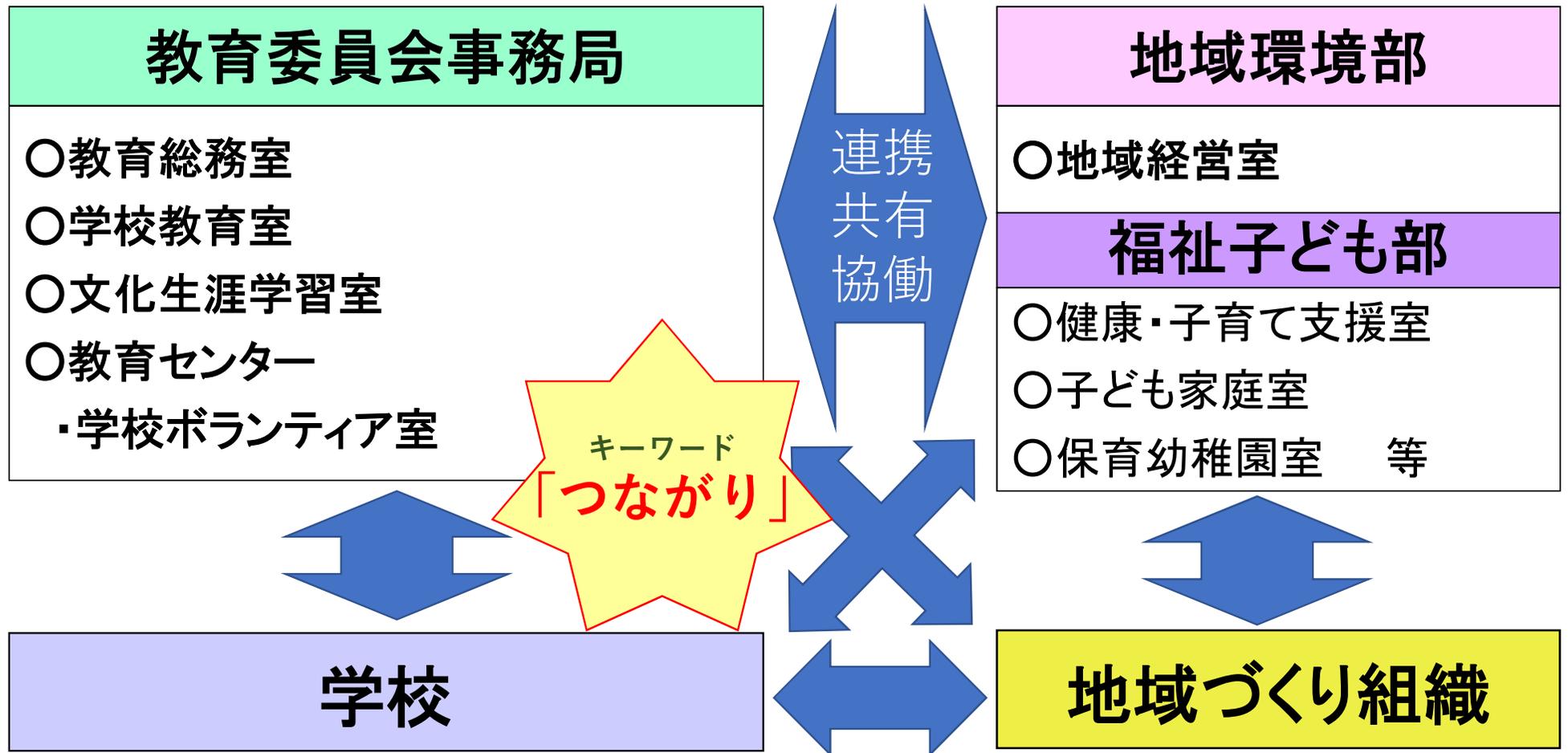
全19校
18学校運営協議会

がっちり組もう育ちのスクラム「名張版コミュニティ・スクールの推進・充実」



キーワード＝「参画」・「居場所」

コミュニティ・スクール関係部署等との連携と支援



名張市学校運営協議会規則(抜粋)

第7条 校長は、その対象学校の協議会委員とする。

2 対象学校の校長以外の協議会の委員は、おおむね10人以内(当該対象学校に係る地域づくり組織が複数である場合にあつては、教育委員会が決定した員数)とし、次に掲げる者のうちから、当該対象学校の校長の推薦により教育委員会が委嘱する。

- (1) 当該対象学校の就学区域の住民
- (2) 当該対象学校に在籍する児童又は生徒の保護者
- (3) 当該対象学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認める者

地域づくり組織へのアプローチ①

～コミュニティ・スクール設置に向けて～

1. 地域づくり代表者会議等における広報

○地域づくり代表者会に説明・広報等(H28、29 4回) **教育長がプレゼン**

○名張市放課後児童クラブ連絡協議会に説明(H29 1回)

2. 講演会・研修会の実施による地域住民への周知

○地域住民・保護者・教職員等(H28～30 5回)各回参加者:平均150人

**地域づくり組織からの参加
を積極的に呼びかける**

**実践推進校の
事例発表**

地域づくり組織へのアプローチ② ～コミュニティ・スクール設置に向けて～

ゆめづくり協働事業交付金（平成29年度）

地域環境部
地域経営室

1. 交付金の上限 …… 各地域づくり組織に30万円以内

2. 事業内容 …… コミュニティ・スクールの推進

①コミュニティ・スクール(CS)と地域との関係

名張版CSでは、地域住民・保護者・学校教職員が、育てたい子どもの姿を共有し、学校を核とした人づくり地域づくりを目指しています。その中の取組の一つとして、学校に地域貢献の機能を持たせ、地域住民とともに地域を愛し、地域を担う子どもを育み、地域の絆づくりに取り組みます。

②交付金の活用について

地域づくりが実施するCSの推進に係る経費

(例) 地域づくり組織が実施するCSの推進に向けて実施する調査研究、先進地視察、講演会、行事・イベント等

地域づくり組織へのアプローチ③

～コミュニティ・スクール設置に向けて～

3. 先進地視察の実施

○各地域づくり組織が県内外へ

地域づくり組織役員、PTA役員、学校教職員、地域環境部、教育委員会事務局、地域学校協働本部チーフコーディネーター 等

○地域づくり代表者会議

名張市地域づくり代表者会議委員15名、地域環境部、教育委員会事務局

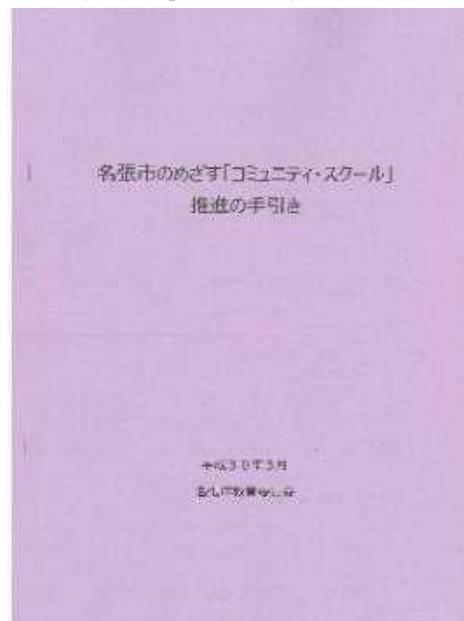
4. 名張市小中一貫・コミュニティ・スクール推進協議会設立

学識有識者、校長会代表、教頭会代表、教職員代表、地域づくり代表者会議代表、PTA連合会代表、各中学校区代表、教育委員会事務局、地域環境部 等

地域づくり組織へのアプローチ⑤

～コミュニティ・スクール設置に向けて～

6. 手引書・実践集の発行



名張市のめざす「コミュニティ・スクール」推進の手引き
<平成30年3月>



コミュニティ・スクール
実践集2018から毎年
<平成31年3月～>

地域づくり組織へのアプローチ⑥

～コミュニティ・スクール設置に向けて～

7. 学校への支援

(1) チーフコーディネーター等による学校訪問

教育センター学校ボランティア室所属のチーフコーディネーターや教育総務室CS担当職員が市内小中学校長を訪問し、各校の状況を把握し、推進に向けての助言を行う。

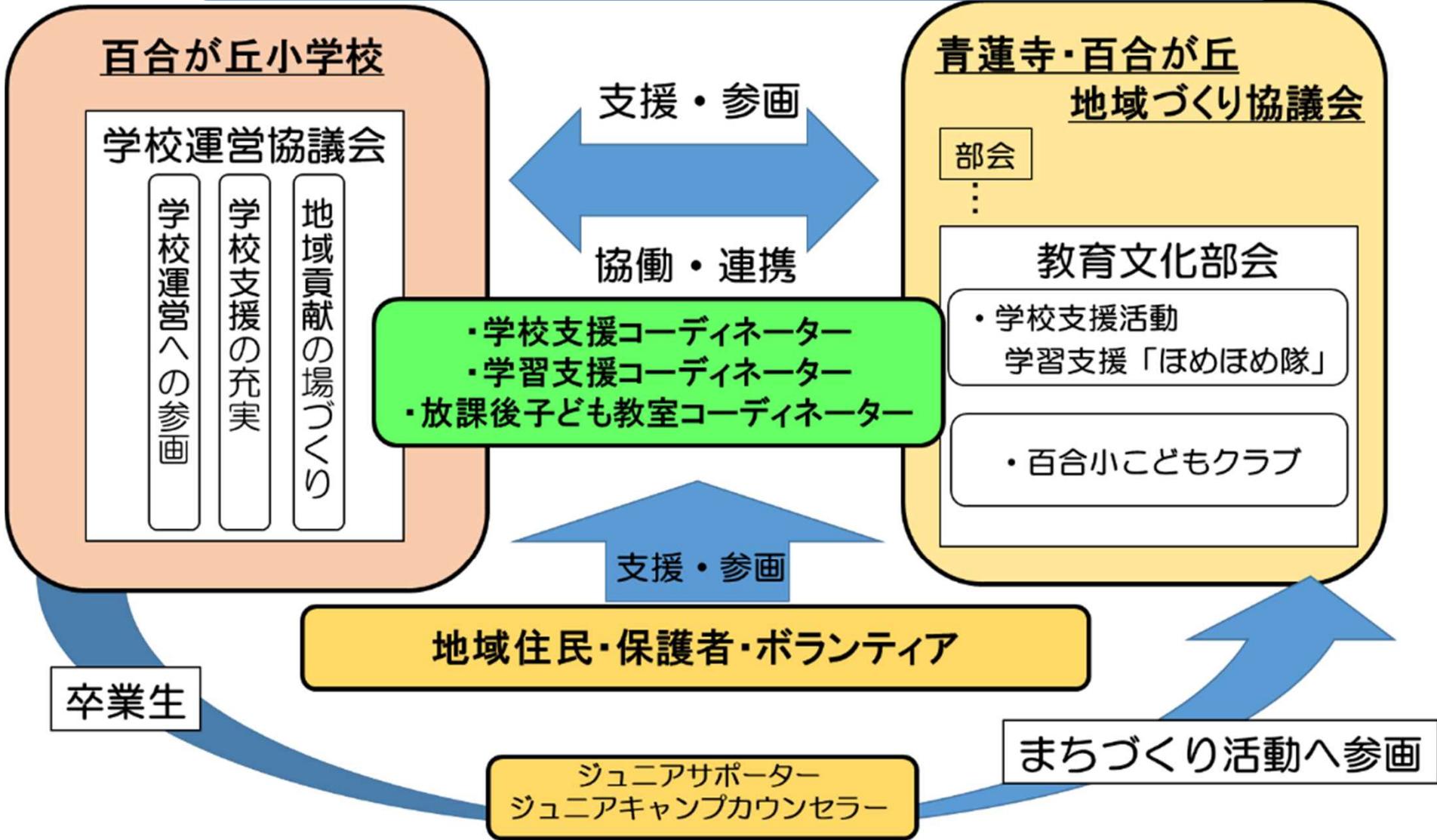
(2) 校内研修等への支援

校内研修会、準備委員会等に教育委員会CS担当職員を派遣し、コミュニティ・スクールの推進のための講座を実施。名張市におけるコミュニティ・スクール導入についての研修、事例の紹介とともに、「熟議」のワークショップを行う。

(3) 学校運営協議会開催の支援

学校運営協議会の事前打ち合わせや事後の振り返り等、教育総務室CS担当職員が内容の相談に応じ、助言を行う。教育委員会事務局職員が学校運営協議会へのオブザーバー参加。

百合が丘小学校コミュニティ・スクール



住み続けたいまちへ
住みたくなるまちへ
子育てをしたくなるまちへ

現在の地域づくりの方向性

1. 高齢者が、健康で安心して楽しくイキイキと過ごせるまちにする。
2. 地域のこどもたちが巣立ち成長した後も、楽しかったこの地域を思い出し、ここで暮らしたいここで子育てをしたいと思ってもらえるまちにする。

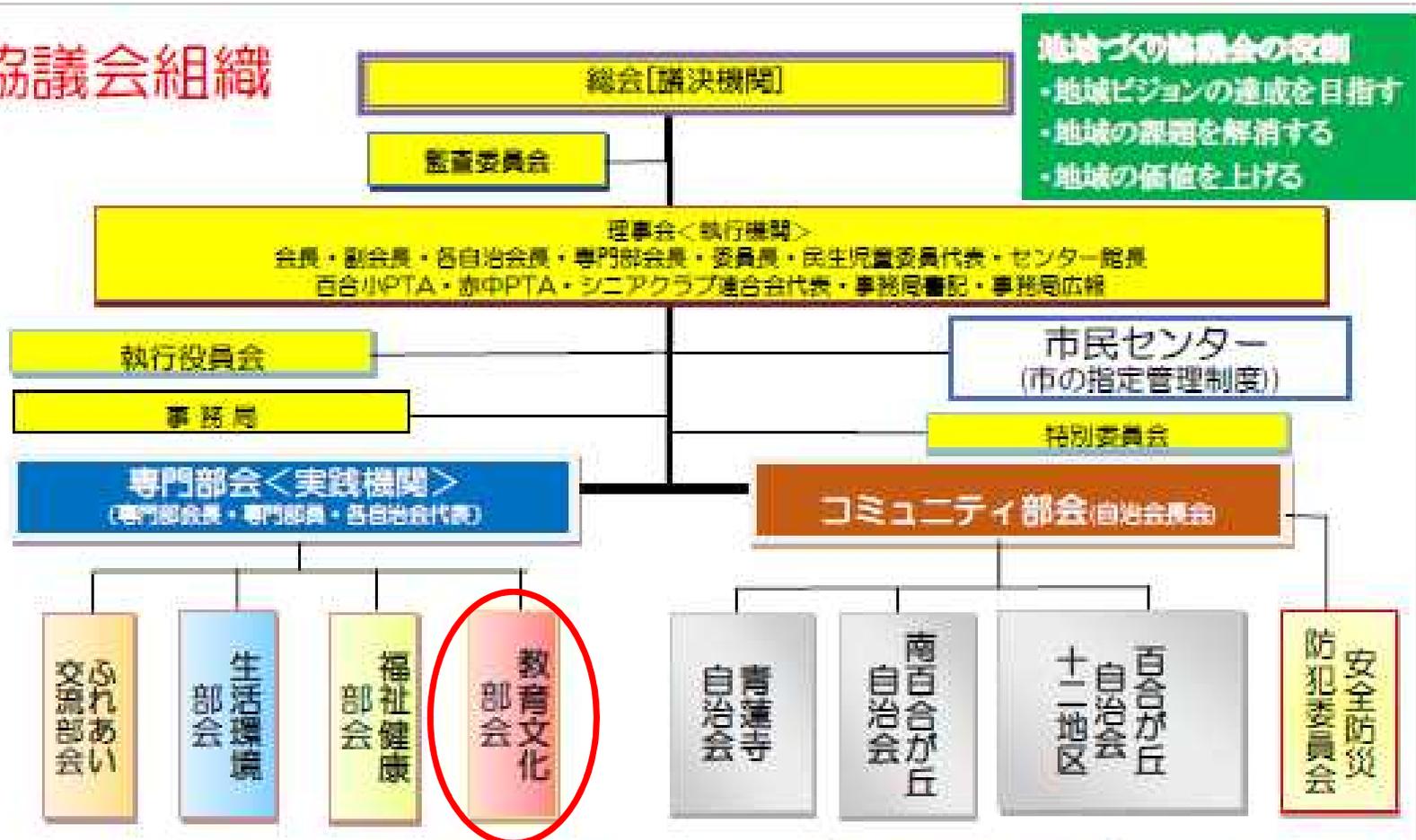
市内の主に小学校単位には、自分たちの地域を自分たちの知恵と創意工夫でよくしていこうといった自立的、主体的なまちづくりを進める15の地域があります。各地域では、「地域ビジョン」に基づき「地域予算制度」「ゆめづくり協働事業」など地域と市が協働して地域の課題解決に向けた取り組みを実施しています。

平成30年1月16日

一般社団法人 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会(三重県名張市)



協議会組織



地域づくり協議会の役割

- ・地域ビジョンの達成を目指す
- ・地域の課題を解消する
- ・地域の価値を上げる



ふれあい交流部会夏祭り



生活環境部会ゆりかぜ博



福祉健康部会高齢者サロン



教育文化部会中高等学校吹奏楽

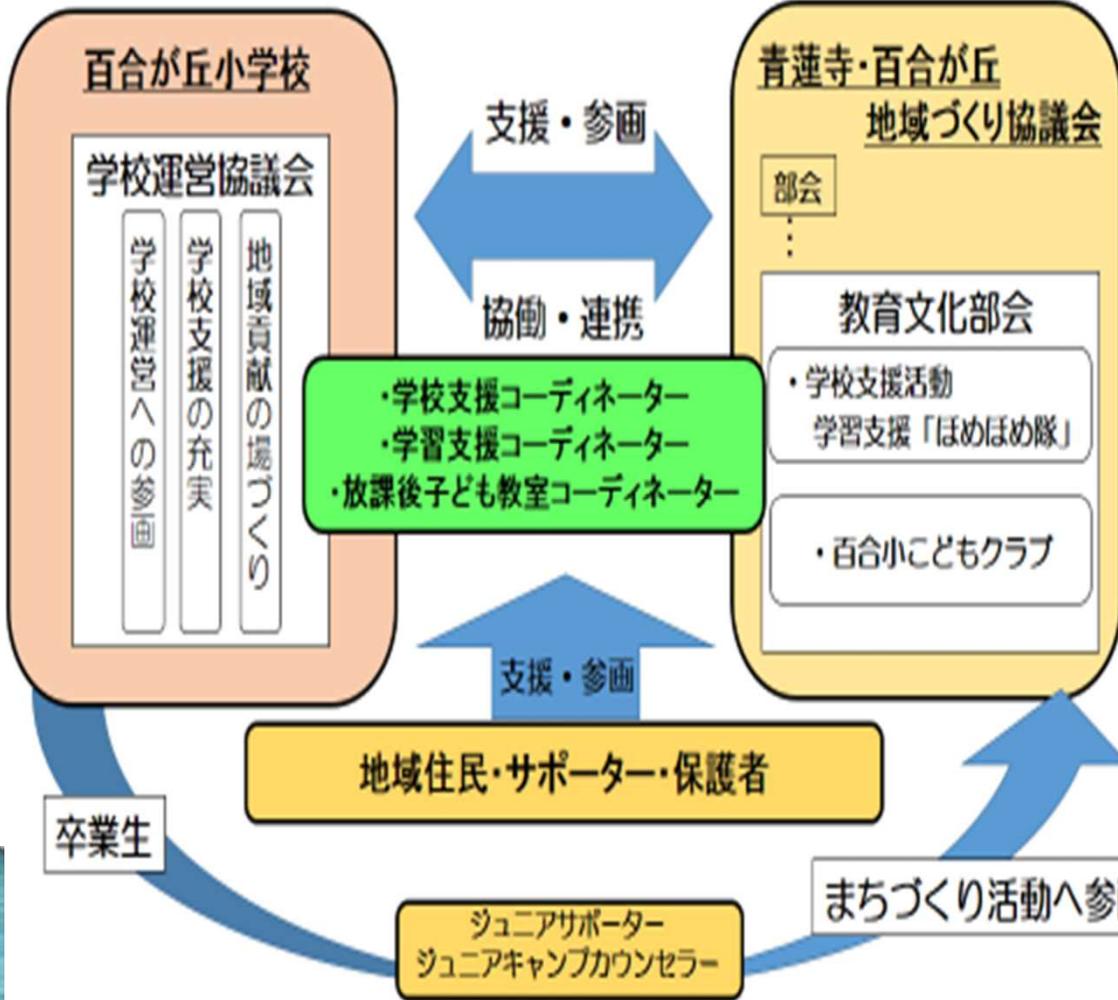


安全防災防犯委員会
災害対策本部運営訓練

百合が丘小学校コミュニティ・スクール

学校支援

- ☆「あいさつ運動」「8・3運動」
- ☆学習支援「ほめほめ隊」
- ☆読み聞かせ・野菜づくり・米づくり・ぶどう学習・クラブの指導
- ☆下校見守り活動



地域貢献

- ☆「百合小こどもクラブ」
- ☆シニアクラブの方々へのお手紙（運動会の案内状）
- ☆感謝の会（六年生を送る会）

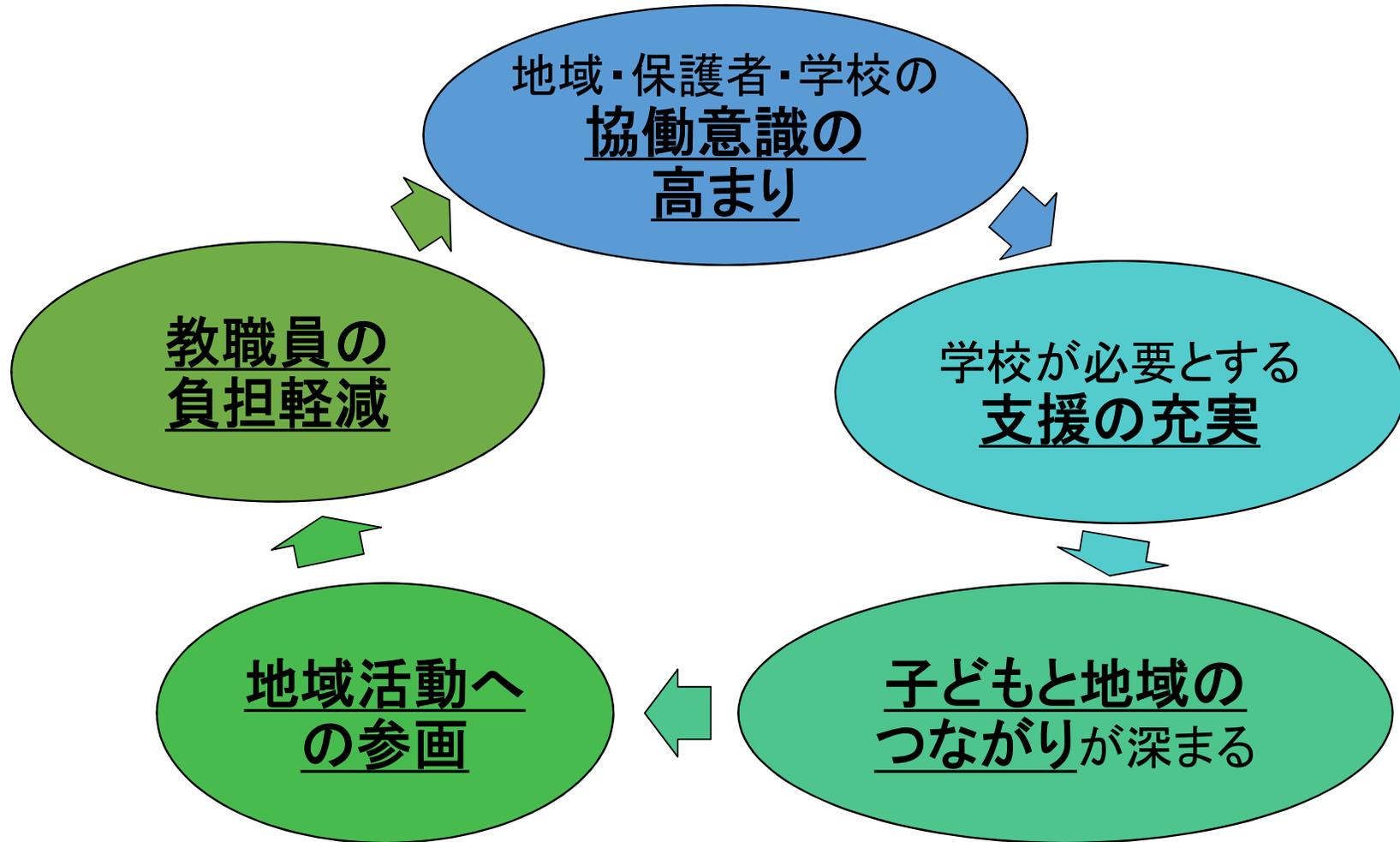




新型コロナウイルスの感染拡大で市民生活にも制約がある中、地域の人に元気になってもらおうと、名張市立つつじが丘小学校の6年生が考案した弁当が1日、スーパーヤオヒコ名張店(三重県名張市つつじが丘北5)で発売された。この日用意された15食の弁当は午前中には完売するほどに人気ぶりだった。

この弁当はつつじが丘小の6年生110人が家庭科や食育の授業で学んだことを生かして、地域の人が元気で笑顔になるような弁当を考案。2月に同小の近隣に出店しているヤオヒコの惣菜担当者を招いたプレゼンテーションを実施した。【毎日新聞 記事より】

コミュニティ・スクールと地域運営組織の連携推進 における成果へ



コミュニティ・スクールと地域運営組織の連携 推進により見えてきたこと①

- 地域住民が学校の応援団として学校運営に参画
- 学校の問題点や課題を地域と共有
- 地域とともに解決策等を考えることで、多彩な解決策
- 学校と地域がそれぞれの立場から知恵を出し合う

コミュニティ・スクールと地域運営組織の連携 推進により見えてきたこと②

○CS・学校運営協議会の意義や役割について、保護者・地域住民の認知度及び参画意識の向上

○教育行政担当者及び学校管理職・教職員の意識改革の必要性

○CSの持続可能な仕組みづくり

○中学校のCS及び協働活動のあり方

